

平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 「生徒たちが『入学してよかった』と誇れる学校、保護者が『入学させてよかった』と安心できる学校、卒業生が『母校』として胸を張れる学校、そして、地域からは『頑張れ』と応援してもらえる学校」をめざす。
- 1 「なりたい自分」の発見と、その実現に向けた教育活動を展開し、夢と志を持った生徒を育成する。
 - 2 基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成に努め、互いの人権を尊重する気持ちを育み、人間力を高め、社会に貢献する人材を育成する。
 - 3 地域連携とPTA活動の活性化に努め、「学校と地域」「学校と保護者」それぞれ相互の信頼を構築する教育活動を展開する。

2 中期的目標

1 確かな学力の定着

- (1) 少人数授業の展開やICTを活用した授業の拡充等により魅力ある授業づくりを推進し、学びの意欲を高め基礎学力の定着を図る。
 - (2) 「SK教員絆プロジェクト」による「SK勉強会」を実施することで、校内での研究授業等を充実させ、経験の多少によらず教員力・授業力の向上を図る。
- *生徒向け学校教育自己診断における授業満足度（平成29年度62.7%）を毎年3ポイント上昇させ、2020年度には70%以上をめざす。

2 多様な進路の実現

- (1) 多様な進路を実現するための進路支援システムを確立し、早期に進路目標を意識させる指導を行う。
- *卒業後に自己実現のための準備とするもの以外の進路未決定率（平成29年度3.8%）を、2020年度には0%をめざす。
*進学希望者の中から、難関私立大学・国公立大学にチャレンジする生徒を育てる。2020年度には合格者を輩出する。

3 社会に貢献する人材の育成

- (1) 基本的生活習慣の確立と規範意識向上に向けた取組みを推進するとともに、個々の生徒への支援体制を強化する。
 - ア 登下校時の交通安全指導を強化し、登校時の「あいさつ運動」を拡充させながら、自律の精神を育む。
 - イ スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した教育相談体制を確立させ、個々の生徒への支援体制を充実させる。

*生徒向け学校教育自己診断における校則やルールに対する遵守肯定率（平成29年度79.9%）を80%以上に引き上げ2020年度まで80%以上を維持する。
*生徒向け学校教育自己診断における教育相談に関する項目における満足度（平成29年度46.1%）を毎年5ポイント引き上げ、2020年度には60%をめざす。
- (2) 特別活動を充実させ生徒の参加を促進することで、生徒の自己肯定感を醸成するとともに、学校への帰属意識を高める。
 - ア 学校行事や部活動において、生徒の自主性を高めるとともに、集団の中で他と調和しながら行動する能力を育成する。
 - イ 「堺上高杯」において地域や小中学校とのさらなる連携を図るとともに、運営を生徒が担うことによって、生徒の自尊心を育む。

*生徒向け学校教育自己診断における行事に対する満足度（平成29年度67.8%）を毎年5ポイント引き上げ、2020年度には80%以上をめざす。
*生徒の入部率を（平成29年度42.4%）を毎年3ポイント引き上げ、2020年度には50%以上をめざす。
*「堺上高杯」への参加校延べ数（平成29年度57校）を、新規開拓を試み2020年度には60校以上をめざすことで知名度を高め魅力を発信する。

4 校内運営体制の改善と人材の育成

- (1) 分掌や各種委員会等の業務の見直しを行い、業務の精選と簡素化、業務量の適正化、情報の共有化をめざす。
- (2) 「SK教員絆プロジェクト」を立ち上げ、本校独自の育成事業「フレッシュミーティング」「SK勉強会」等を開催し、経験年数の少ない教員の育成システムを構築する。

5 広報活動の充実と保護者や地域との連携の推進

- (1) 地域の小中学校等への広報の充実に努め、更なる連携を推進する。
 - (2) 保護者が積極的にPTA活動に参加できるよう、PTA活動内容の精査を行いさらなる充実を図る。また、保護者向けメール配信の内容を充実させ、学校の教育活動への理解を深める。
- *本校独自の「中高連絡会」の参加中学校数（平成29年度8校8名）を、企画全体の課題を洗い出すことにより2020年度には25校をめざす。
*保護者向けメールの登録者（平成29年度441名54%）を、2020年度には70%をめざす。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 31 年 1 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【自己診断全般について】 ○今年度診断内容を改定刷新したので、単純比較はできないが、同じ内容のもので肯定値が下がっている項目については、検証を行い、やむをえない理由がある場合を除いては、次年度の改善に繋げていきたいと考えている。</p> <p>【生徒の回答から】 ○社会的実力育成のために生活規律や服装ルールなどの遵守強化を図りながらも、「学校へ行くのが楽しい」という意識を持たせるためにはどうすればよいか、直面する課題である。遵守の必要性を納得させながら、粘り強く指導をしていきたい。 ○教員の授業技術面で機器使用項目では高い肯定値を示しつつ、授業展開の肯定値はそれほど高くない。工夫の努力が効果に結びつくように、SK 勉強会等を通して、より生徒の実態に沿った授業のあり方を検討していきたい。 ○相談できる教員の範囲に関する肯定値が上がったのは一定の成果だが、親身度合いは下がっている。学校としてSCやSSWを活用しながら教育相談体制を確立しつつ、様々なケースに対応しており、一層の充実に努めたい。</p> <p>【保護者の回答から】 ○保護者の回答率が低い（31.7%）ということが大きな課題である。学校から保護者に協力依頼を周知徹底する方法に、さらなる工夫が必要であると思われる。 ○生活規律や服装ルールなどの遵守強化を図りながらも、「学校へ行くのが楽しい」という意識を持たせるためには保護者の理解と協力が不可欠である。PTA 活動の活発化などを通して、本校の教育に興味と理解を持っていただき、連携して生徒に社会的な実力を育成できるようにしていきたい。</p> <p>【教職員の回答から】 ○教員間の連携や校内研修、管理職の学校運営、外部機関との連携協力については高い肯定値を示している。組織的機能性の高さの意識が実際の教育効果に結びついていくように、さらなる業務内容の検討と改善とを推進したい。 ○進路指導を含むキャリア教育や教育相談体制等の各項目から、生徒に寄り添う教育についての意識の高さがうかがえる。生徒・保護者の回答をふまえると、そういう意識を生徒・保護者にどう伝えて、どう生かしていくかが課題である。</p>	<p><第1回>平成30年6月25日（月）開催 ○他年代とコミュニケーションできる力が必要なので、企業は部活動に積極的な生徒を採用したい。会社でも集団業務を行うので、ルールやマナーを守れる人材を求めている。学校にはそういうことを意識して指導してほしい。 ○堺上高校での学校生活の中身が魅力的であること、高い就職率などの進路の実績、SK 勉強会等の教員研修の取組などを外部に発信するさらなる工夫をするべきだと考える。</p> <p><第2回>平成30年11月19日（月）開催 ○近年、身だしなみ等がかなり良くなってきた印象があるので、引き続き服装指導等に取組んでほしい。卒業生などの良い評判も聞いているので、他校種との交流も含めて地域から応援してもらえる学校として努力してほしい。 ○上校杯などでの奉仕にあたる活動の力は社会に出てからも評価される。もっとアピールしてもよい。文化系のクラブにも頑張ってもらいたい。</p> <p><第3回>平成31年2月20日（水）開催 ○わかりやすく、しかも楽しい授業を行うためには、「アクティブ・ラーニング」の視点を取り入れた授業展開をするとよいと思う。教員が一方的に説明するのではなく、授業の中で他のメンバーと交流したり、発表したりする場面を設けるとよい。 ○学校外にもっと堺上高校の特色、特徴を発信するべきだと思う。様々な積極的な取組を理解してもらって、教育活動のさらなる活性化に結びつけてほしい。 ○きちんとした身なりをするための指導は大切である。生徒には、楽しい中にもルールを守ることの大切さを知ってほしいと思う。この学校は指導の基本がしっかりしていると思うので、それを継続していただきたい。 ○学校全体としてよく頑張っていると思う。数値だけでは測れない「人間性」の大切さを伝えるような教育をこれからもしていただきたいと思う。</p>

--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の定着	(1) 学びへの意欲を高める (2) 研究授業等の拡充	(1) ・外部教育産業のテストを効果的に活用することで、基礎学力の定着度を確認しながら、授業の課題を把握する。 ・ICT機器を導入による環境整備とその活用を図ることにより、生徒の興味・関心を引き出す授業作りに取り組む。 (2) ・「SK教員絆プロジェクト」による「SK勉強会」を実施し、授業見学や研究協議を充実させ、課題を共有化し同僚性を活かした授業改善を図る。	(1) ・生徒向け学校教育自己診断において授業満足度を65%以上に。(H29は62.7%) ・生徒向け学校教育自己診断において教材等の工夫満足度を80%以上に。(H29は76.7%) (2) ・「SK勉強会」参加教員数を10名以上に。 ・授業見学週間に参加する教員数を述べ80名に。(H29は72名) ・教員向け学校教育自己診断において「授業について他教科と話し合う機会がある」を60%以上に。(H29は55.3%)	(1) ・授業満足度は64.4%だった。継続して授業改善に取り組みたい。(△) ・教材等工夫満足度は75.7%だった。引き続き工夫ある授業づくりに取り組みたい。(△) (2) ・「SK勉強会」第2回全体会には44名が参加した。内容を府立学校メールマガジンに配信。第3回ではPDCAサイクルによって次年度に向けた取組みを検討予定。(◎) ・授業見学週間に参加した教員は35名だった。将来構想委員会が推進したが、時期が今年度の特別事情と重なり、昨年度ほど数字が伸びなかった。相互見学活性化に向けて工夫を検討したい。(△) ・他教科との話し合う機会は56%だった。SK勉強会等を通じて、授業に関する同僚性の意識化を図りたい。(△)
2 多様な進路の実現	(1) 早期に進路目標を意識させる指導の充実	(1) ・外部講師等による進路講演会の実施や就職支援コーディネータの活用、内定者指導、進学講習、卒業後の進路追跡調査等、個々の進路に応じたきめ細かな進路指導を行う。 ・医療看護系や4年制大学進学希望者向けには個々の進路に応じた個別講習を実施する。 ・年2回の大学見学会について内容の充実、参加者増に向けた広報の工夫に努める。 ・漢検・英検・パソコン検定の受検促進を図る。	(1) ・H29年度卒業生について、卒業後の追跡調査で離職率の減少を確認する。 ・難関私立大学・国公立大学にチャレンジする生徒数について昨年より増をめざす。(H29は8名) ・進学講習参加者を65名以上に。(H29は62名) ・2回の大学見学会参加者数70名以上をめざす。(H29は64名) ・H29漢検112名、英検57名、パソコン検定24名の受検者数について昨年より増をめざす。	(1) ・卒業後追跡調査は予算の都合により、今年度から廃止になった。 ・難関私立大学・国公立大学にチャレンジした生徒数は3名だった。昨年度より減の要因は特定した。来年度はこれよりも増をめざしたい。(△) ・積極的な参加を勧めた結果、進学講習参加者は72名だった。(○) ・大学見学会はPTA総会等で検討の結果、今年度から1回の開催となった。参加者は19名だった。受入大学の説明のあり方変更等に伴い、次年度には更なる見直しを検討されている。(△) ・漢検減で52名、英検減で35名、パソコン検定増で28名の受験。漢検、英検が減少した原因と対策を考えたい。(△)

府立堺上高等学校

<p>3 社会に貢献する人材の育成</p>	<p>(1) ア 基本的生活習慣の確立と規範意識の向上</p> <p>イ 個々への支援体制の強化</p> <p>(2) ア 特別活動の活性化</p> <p>イ 部活動等における地域や小中学校との連携</p>	<p>(1) ア・大阪府の自転車条例をふまえ、自転車事故防止やマナー向上のための講習会を、警察等と連携して実施するとともに登校時の「あいさつ運動」「自転車登校マナーの声掛け」「駐輪指導」を強化する。</p> <p>・遅刻回数による段階指導や遅刻防止週間、入室許可書等これまでの指導システムを継続させながら遅刻数の減少に取り組む。</p> <p>・服装等身だしなみの指導を徹底する。</p> <p>イ・SCとSSWを活用した教育相談体制をさらに充実させ、個々のケースに迅速に対応できる能動的な組織の確立に努め、外部機関との適切な連携を図る。</p> <p>(2) ア・体育大会や文化祭等の学校行事だけでなく、中学生向け学校説明会においても生徒会役員やクラブ員が活躍する場を設け、本校の活動について中学生にアピールすることにより、生徒自身のマネジメント力を高めるとともに、自己肯定感を醸成する。</p> <p>・入学後の体験入部の実施方法に工夫を加え、1年次の加入率を上げる。</p> <p>イ・「堺上高杯」を組織的に充実させ、地域の学校との連携を深める。</p>	<p>(1) ア・生徒向け学校教育自己診断で、校則やルールの遵守肯定度を80%以上に。(H29は77.9%)</p> <p>・自転車事故件数について、0件をめざす。(H29は2件)</p> <p>・遅刻統計の総数で昨年度(6,624回)の10ポイント減をめざす。</p> <p>・学校教育自己診断で、「身だしなみについて」の遵守肯定度を70%以上めざす。</p> <p>イ・「担任以外にも相談できる先生がいる」の肯定度を50%以上に(H29は46.1%)</p> <p>(2) ア・生徒向け学校教育自己診断において、行事満足度を70%に。(H29は67.8%)</p> <p>・学校説明会時の中学生対象のアンケートで、「生徒が活躍している」という肯定回答率を50%に。(H29は未実施)</p> <p>・1年次の加入率50%以上、全体の加入率45%以上をめざす。(H29はそれぞれ44.5%、42.4%)</p> <p>イ・第3回「堺上高杯」を計画的かつ組織的に実施し、新規参加校を開拓し参加校数増をめざす。(H29は延べ57校804人)</p>	<p>(1) ア・項目変更。遵守の意義を理解させて、ルールやマナーを守る力を育成することに努める。</p> <p>・自転車事故報告数については、1月23日現在で1件だった。命に関わることなので、0件をめざして、引き続き、自転車走行に伴う危険性についての指導を行なっていきたい。(△)</p> <p>・遅刻統計の総数は1月23日時点で6727回である。増加原因は多発した災害関係に伴う遅刻もすべて計上しているためと推察している。次年度、減少をめざしたい。(△)</p> <p>・項目変更。身だしなみを通しての道徳教育など、服育の観点からの身だしなみの指導を図りたい。</p> <p>イ・肯定度は53.5%。情報収集面も含めて、教育相談の体制づくりは一定の機能を修めているので、充実に努めたい。(○)</p> <p>(2) ア・満足度66.3%。生徒のマネジメント力伸長に結びつくようなかたちで行事を通じた学校生活の充実を図りたい。(△)</p> <p>・11月10日実施の第1回学校説明会時の中学生対象アンケートで生徒の活躍に関わる項目の肯定度の高い回答が74.6%だった。引き続き、生徒の活躍の場を設けたい。(◎)</p> <p>・一年次加入率41.1%、全体加入率36.7%だった。昨年度加入数の多い学年が卒業したことで全体的に数値が減少した。1年生の現状を分析して、本校でも部活離れが進んでいるので、文化部の活性化、部活の意義を理解させるなど対策を立てて臨みたい。(△)</p> <p>イ・第3回「堺上高杯」については1月23日時点(2クラブ未実施)で参加46校、参加中学生807名となっている。関係生徒のボランティア精神の醸成に結びつき、本校の特色ある取組として好評で中学校にも定着しつつある。(○)</p>
<p>4 校内運営体制の改善と人材の育成</p>	<p>(1) 分掌や各種委員会等の業務の見直し</p> <p>(2) 経験年数の少ない教員の育成</p>	<p>(1)・業務内容を整理し、業務の精選と簡素化、業務量の適正化、情報の共有化をめざす。</p> <p>・将来構想委員会をさらに活性化させ、新たな取組提言や提案を促し、その具現化に取り組む。</p> <p>(2)・「SK教員絆プロジェクト」により、「フレッシュミーティング」や「SK勉強会」等を実施し、授業力はもとより分掌業務や担任業務などの研修を実施し教員力の向上を図る。</p> <p>・人権研修等の教職員研修の実施に際し、外部講師を積極的に招聘し、実態に即した内容となるよう創意工夫を行う。</p>	<p>(1)・教員向け学校教育自己診断における「各分掌等が有機的に機能している」について65%をめざす。(H29は61.7%)</p> <p>・新たな取組みを1件以上具現化する。</p> <p>(2)・「校内研修が計画的に実施されている」を80%以上を維持(H29は89.4%)</p> <p>・「教育実践に役立つ内容となっている」を80%以上に。(H29は78.7%)</p>	<p>(1)・62%だった。働き方改革の推進、教員数等今後の学校のあり方をふまえて、分掌の統合等、業務内容の整理精選を進めたい。(△)</p> <p>・SKプロジェクトに基づく「SK勉強会」を新規に年間3回実施して、成果をあげた。(○)</p> <p>(2)・88%だった。「SK勉強会」を中心とした授業力向上等の研修実施により、教員の教育力の向上を図りたい。(○)</p> <p>・70%だった。本校の教育課題に沿った職員研修を計画的に実施していきたい。(△)</p>

府立堺上高等学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">5 広報活動の充実と保護者や地域との連携の推進</p>	<p>(1) 小・中学校への広報の充実とさらなる連携の推進</p> <p>(2) P T A 活動のさらなる充実</p>	<p>(1) ・全出身中学校に対し広報に努めるとともに3月に新入生の状況把握を行い個別の支援の一助とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校独自の中高連絡会を実施し、生徒状況等について共有化を図る。同時にHPの内容の充実させることで、タイムリーに情報を発信する。 ・地域の小学校と連携した取組み（新スポーツテスト実施のサポートや清掃活動等）を実施する。 <p>(2) ・PTAの活動についてのHP内容を充実させ、PTAの一日研修や教養講座の参加促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けメール配信「365日いつでもネット」の登録者を増やすとともに発信内容の充実を図る。 	<p>(1) ・全出身中学校と連絡を取り、生徒の状況把握を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高連絡会参加10校以上をめざす。(H29は8校) ・本校HPの訪問者数を年間15,000件以上めざす。(H29年4月～H30年3月、約14,000件) ・「近隣の学校との校種間連携の機会を設け、教育活動全般に活かしている。」の肯定回答値80%をめざす。(H29は72.3%) <p>(2) ・PTA主催の研修について定員に対し、80%以上の参加率をめざす。(H29は総数115/150人、77%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「365日いつでもネット」登録率60%以上をめざす。(H29は54%) ・保護者向け学校教育自己診断における「365日いつでもネット」に対する肯定回答数を10ポイント増とする。(H29は66.8%) 	<p>(1) ・3月に全出身中学校と連絡を取り、生徒の状況把握を行なった。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校地区の会議と重なったこともあり、中高連絡会参加校は7校だった。上記の事情があるが、中学での卒業学年担当者に働きかけるなど、引き続き参加者増に努めたい。(△) ・見やすくリニューアルを図ったHPの訪問者数は大幅に増加し、45,158件にのぼった。災害の影響を踏まえても大きく増加したと考えている。(◎) ・66%だった。イベントへの部の出演など、地域の方々との交流を深めるような取組みを進めたい。(△) <p>(2) ・研修、講座への参加率は70/110人で63.6%だった。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「登録率」は57.4%と昨年度より増加したが、指標には届いていない。災害関係のこともあるので、工夫して率のアップを図りたい。(△) ・67%だった。保護者への情報発信をこまめに行うようにしたい。(△)
--	--	--	---	--